

## 第 18 回茅ヶ崎中海岸侵食対策協議会 主な意見

日時：令和 4 年 3 月 30 日(水)

(資料の送付日)

第 18 回協議会（書面開催）の主な意見は次のとおりです。

### ○規約について

1. 協議会の対象範囲を「茅ヶ崎漁港～ヘッドランド」から「柳島地区～菱沼海岸地区」に変更し、併せて、名称を「茅ヶ崎中海岸侵食対策協議会」から「茅ヶ崎海岸侵食対策協議会」に変更することについて。

<主な意見>

- ・賛成ですが、範囲が広がることによって予算面や作業の遅れ等は大丈夫ですか？

### ○中海岸について

2. 現地の養浜盛土を活用して養浜するとともに、海岸利用と景観に配慮しながら、現地の盛り土の天端高を段階的に低くしていくことについて。

2021 年度； T. P. 7. 5m ➡ T. P. +6. 9m (完了済み)

2022 年度； T. P. +6. 9m ➡ T. P. +6. 0m

2023 年度以降； T. P. +6. 0m ➡ T. P. +5. 0m 現在の砂浜（幅）について

<主な意見>

- ・全ての地域において、いつ、どこで、どんな作業をどのくらいの期間で行う等の計画、予定の周知が必要に思います。ヘッドランドにおいても盛土の作業を行っていますが、委員である私自体知りませんでした。作業中頃に土木事務所より電話がありましたが、現場の作業員達は海浜利用者に何を質問されても答える事はできません。我々にも多くの人達から質問がきていますが、わかっている事しか答えられず、「チームであると思っていたのに残念です」！
- ・周辺の景観とマッチするには、徐々に低くすることは必要と思います。

- ・高潮ハザードマップでは、中海岸は浸水被害が想定される場所ですが、天端を下げる理由が景観では説明がつかないのではないかとと思われる。高潮による影響についての説明が必要ではないか。

### 3. 中海岸に関するその他の意見について

#### <主な意見>

- ・資料4(環境影響調査)について、大変よい仕事ですが、更に採取した砂の間にある間隙水の生物について、せめて数だけでも(株)日本海洋生物研究所に調べさせれば、養浜の成果についてより完璧な報告になると存じます。
- ・茅ヶ崎市が管理しているサザンビーチの砂浜の砂が少なくなっているのですが、砂を入れてもらうことはできないでしょうか。
- ・正月の新春凧揚げを行うにも、美しい浜辺の回復が実感されます。又、サザンビーチにてサッカーや野球を練習する子どもチームを見るにつけ、海辺の楽しさを味わう市民が増えることは昔から当地区に住む地元住民によっては嬉しい限りです。
- ・砂浜で禁止している事の看板を設置してもらいたい。
- ・先にも言いましたが、ここに砂を幾等つぎこんでも、台風等大きな波が来ればもっていかれてしまう。ここにヘッドランドを作る事等です。長い目で見れば、その予算の方が安く上がり、侵食も防ぐ事が出来ます。
- ・今後も養浜を続けてほしいと思います。
- ・漁港の西側が浅くなって行くのが不安です。大分今でも漁港口元が浅く波が高くなって行っているのです、そこの事を考えて頂きたいです。
- ・仕方がない話だと思いますが、砂礫が大きいために足にけがをしやすいと聞いた部分があり、心配していますが、対応は難しいと理解しています。

## ○菱沼海岸について

4. 相模湾沿岸海岸侵食対策計画は、年間 30,000 m<sup>3</sup>を養浜することとされていますが、令和3年度は利用面に配慮して、養浜量を 20,000 m<sup>3</sup>にしました。令和4年度も引き続き、養浜量を 20,000 m<sup>3</sup>を基本として実施することについて。※年間 30,000 m<sup>3</sup>を 10 年間養浜することで、目標とする浜幅を確保することができますが、年間 20,000 m<sup>3</sup>程度の養浜量では、目標とする浜幅を達成できません。

### <主な意見>

- ・ 10 年間で目標とする浜幅を確保してください。
- ・ 目標を達成する見込みのない計画の意義がわからないため。
- ・ 砂を投入しながら、ここにもミニヘッドランドを作る方が良いと思います。削れ方を見れば分かります。砂の投入だけでは無理です。
- ・ 2 万 m<sup>3</sup> では目標に達成できないという事であれば、現在の計画養浜 2 万 m<sup>3</sup> の形状に 1 万 m<sup>3</sup> を天端を低くしてヘッドランドから白浜町の 3 か所程度の汀線沖合に舌状に突き出た形状に盛り砂の投入をしてはどうか？
- ・ 年間 2 万 m<sup>3</sup> 程度の養浜量では目標とする浜幅を達成できないのであれば、年間 3 万 m<sup>3</sup> の養浜量で行うべきです。
- ・ 養浜に関しては、現実問題中海岸を行った時と違い、ヘッドランドのようなつきだした部分があるわけではないのでどこまで砂が定着するのか？様子を見る必要があるかと思います。またその分エリアが広いので養浜量は増やす必要があると考えます。特に白浜町エリアに関しては、地元の産業となる地引網を行っているエリアで、地元からも早く復活させてほしいとの意見を多数の自治会から頂いています。今回、養浜が出来なかったのは、漁業者からの意見で、ダムの浚渫を持ってくるのではと思い、ながらみ等の生態系に対する影響を考えていたので、入れないでという話だったようですが、実際には、西浜からの移動だったので、市内の砂であれば、入れて欲しかったとの話も伺いました。今回計画に入っていない部分も検討して行ってほしいと考えています。
- ・ 目標を達成できるようにお願いします。

## 6. 菱沼海岸に関するその他の意見について。

### <主な意見>

- ・小和田地区の二軒の網元の意見・要望を聞いていただければ侵食でこまっている事がよくわかると思いますので、よろしくをお願いします。
- ・波を防ぐ為、沖にテトラ等を置くのも方法です。波を力を弱める事も大事です。
- ・前回のアンケートでトンボロ効果の為に岩石の投入をしてはどうかと回答しましたが、2万 m<sup>3</sup> から 3万 m<sup>3</sup> の土砂投入の養浜対策を見守りたいとして、前回の意見の撤回を致します。
- ・今後も養浜を続けてほしいと思います。
- ・菱沼海岸より東側 4 号水路よりもう少し東側の小和田のところまで砂を入れて頂きたいです。これは小和田の地引網さんからの要望もありました。
- ・台風等が来ると砂浜がなくなるので、波に対して何か根本的な対策が必要じゃないかと思う。
- ・ヘッドランド付近の養浜がだいぶ高く、ライフセーバーの詰所より波打ち際が見えず、リスク管理が難しいと思われる部分がありますので、夏前に改善をお願いしたい。また、中海岸から白浜町間のサイクリングロードへの飛砂が激しいので、改善策を検討頂きたい。サイクリングロード付近の砂をもう少し波打ち際への移動するだけでもだいぶ変わるようにも考えられるし、竹ず柵の配置を工夫頂けると助かります。